



学校だより

平成 25 (2013) 年 7 月 6 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

短かった 1 学期、今日で終了です！

1 学期初日の 5 月 4 日は、小・中学部合同の入学式が行われました。小学部の新 1 年生は嬉しさとともに緊張した表情で、お父さんやお母さんといっしょに登校しました。そのころから 2 ヶ月ほどがたち、補習校の生活にもすっかり慣れ、友達や先生と「こんにちは」「さようなら」と元気なあいさつをかわしています。そして、先生や児童・生徒会のお兄さんやお姉さんの話もしっかり聞いて、友達と一緒に行動する 1 年生が増えて来ました。小学部 1 年生の成長が、よくわかります。

短い 1 学期でしたが、学期終了に際して、それぞれの学年・学級全体で設定した目標や、個人で設定した目標への取り組み状況について振り返る良い機会と思います。目標への取り組み状況を振り返る時は、ポジティブな捉え方をしながらその子に合った具体的な目標を設定することが、子ども本人の取り組む意欲を強いものにしていくものと思います。なお、学年・学級の目標は、集団として進むべき方向性を示し、話し合い活動を通して集団の質を向上させる目的があります。話し合い活動を通して、具体的な取り組みが子どもたちの中から提示されることもあります。学年の最初に設定した目標・具体的目標は、どの位のレベルまで達しているか、学期ごとに自己点検をしながら、課題の解決に向かって前向きに生きようとする子どもたちを育てていきたいと思ひます。1 学期のご支援・ご協力、ありがとうございました。

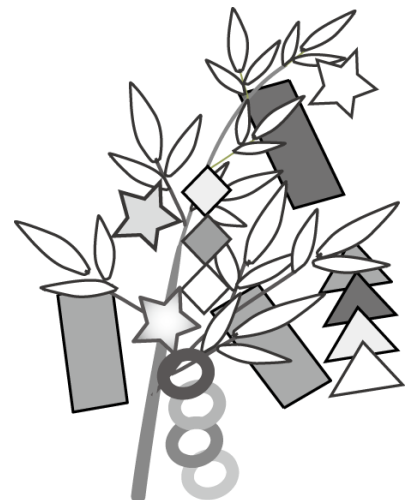
明日から楽しい冬休みです！

補習校の冬休みは、7 月 7 日 (日) ~ 8 月 2 日 (金) までの 27 日間です。この期間、子どもたちは学習計画を立て、有意義に過ごしましょう。

日本語力の向上と鍛錬のために、音読、漢字練習、作文 (日記) の 3 点セットは毎日取り組みましょう。特に日記は、習った漢字を用いながら、毎日書くようにしましょう。忘れてしまった漢字は、国語辞書を使って調べながら書くようにすると、漢字は覚えやすくなります。日記は、自分を見つめ直し、自分の考えを整理してくれます。担任からの宿題内容は、主に学習した範囲であり、忘れてしまった学習内容を調べ、正しく書き、正解を記入します。補習校の授業でしっかり理解できていない範囲が、もしあった場合、後日、担任の先生から問題の解き方を教えてもらうようにしましょう。分からない箇所があった場合、そのままにしないで理解できるまで取り組み、必ず諦めないことが大切です。勉強には王道はありません。自らの学習意欲と既習内容に、新たな学習が授業の中で加わります。既習内容を自らの血と肉にして、新たな学びが始まります。たとえ弱気になって意欲が減退しても、気持ちを奮い立たせ、「日々の努力と継続」の結果を信じ、自らを成長させていきましょう。冬休みの充実をご祈念いたします。

全校七夕集会・・・7 月 7 日、日本の伝統行事

児童・生徒会が中心になって取り組んできた全校七夕集会が、本日、行われました。保護者委員の皆さんが準備していただいた五色の短冊に、子どもたちは願いごとを書き、笹の小枝に結わえました。小さい子どもたちの短冊は、上の学年の子どもたちが手助けをして結わえてあげました。1 年に 1 度、天の川の上で織姫と彦星が再会するという星祭の話です。とても心が温かくなります。



『NHK 地球ラジオ』 で放送されます！

昨年度の海外子女文芸作品コンクールで佳作を受賞した西岡新蔵くん(中1)の作文「ノーパワーウィークエンド」が、「NHK地球ラジオ」で放送されることになりました。

西岡くん本人が朗読されますので、皆さんどうぞお楽しみに。

放送はインターネットでお聞きになれます。

- 放送日時：

7月6日(土) 21:15~21:30 (NZ時間)

<http://www.nhk.or.jp/gr/gronair/onair.html>

- 放送日以降7月7日(日)~7月13日(土)は、「前回の放送を聞く」からどうぞ。

<http://www.nhk.or.jp/gr/streaming/>

- その他の作品は「作文かいたよ」で紹介されています。

<http://www.nhk.or.jp/gr/sakubun/>

ノーパワーウィークエンド

西岡 新蔵

もうすぐ二週間の冬休みが始まります。毎年冬休みには、ぼくが楽しみにしている家族のイベントがあります。それは、海外旅行でも、スキーでもありません。ぼくが楽しみにしているのは、家族で過ごすノーパワーウィークエンドです。ノーパワーウィークエンドは、まったく電気とガソリンを使わないで金曜日の夜から、月曜日の朝までくらすことです。

ノーパワーウィークエンドをしようと思ったきっかけは、六年前に大雪がふって町中が二日間ぐらい停電になったことです。その時は、雪がふりすぎて車は使えないし、電気はつかないし、お湯が出なくてお風呂には入れないし、料理は作れないし、お店は閉まっているし、とても不便でした。でも、町は静かで、電気のおかげにろうそくを使ったりして楽しかったです。そのような生活をまたしたくて、ぼくがノーパワーウィークエンドを思いつきました。

ぼくは、ノーパワーウィークエンドが大好きです。なぜなら、パパは電気が使えなくてコン

ピューターの仕事ができないし、大好きなテレビも映画も見れないし、車の運転もできません。だから、ずっとぼくたち子どもたちと二日間家にいるしかないからです。その時、いつもはしないような「モノポリ」とかのボードゲームをして家族で盛り上がるのが楽しいです。

うちには、まきストーブがあるのでその上でおもちを焼いて食べたり、シチューを一日がかりでグツグツゆつくりたりできるのがうれしいです。まきストーブの上で作った料理は特別おいしいです。のんびり遊んで、ゆつくり料理をして、ろうそくの光でご飯を食べるのは、いつもとちがっていいです。

ぼくは将来、ニュージーランドの冬に「ノーパワーウィークエンド」という祝日を作りたいです。電気を使わないで生活したら、みんなが電気の大切さをわかるし、だれも車を走らせなかつたら、はいきガスが出なくて空気がよくなります。しかも、毎年その週末だけは、交通事故で死ぬ人はゼロです。ニュージーランドなら、この祝日は実現できると思います。なぜなら、ニュージーランド人は節約が上手で、おもしろがりやだからです。